

神奈川県立商工高等学校グランドデザイン

スクール・ミッション

○全日制専門学科の高校として、産業の動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

○教育課程については、工業、商業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視して産業界等との連携により一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて編成を行う。

○これまで、地域への深い理解と貢献の意識をもつ、神奈川の産業を担う将来のスペシャリストの育成に取り組んできたが、今後はさらに、商と工の連携を強化し、加速度的に変化する社会に対応できる人材の育成に向け、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

学校教育目標

- 自立した人材の育成
- 人間性豊かな人材の育成
- 地域産業を担う人材の育成
- 次世代のスペシャリストの育成

グラデュエーション・ポリシー

～本校では卒業までに次のような資質・能力を育みます～

- 商業と工業に関する学科を設置する高校として、地域や社会の健全で持続的な発展を担う人材を育成します。
- 確かな学力（基礎的な学力）を定着させるとともに、専門技術の習得、社会人基礎力、主体性や公共心、社会奉仕精神の涵養を図り、地域産業を担う次世代のスペシャリスト及び自立した人間性豊かな人材を育成します。
- 自己肯定感を育み、他者の人権を尊重できる人材を育成します。

カリキュラム・ポリシー

～本校では次のような学びを行います～

- 社会人としての基礎力と豊かな人間性を育成するため、基本的な生活習慣の定着を図ります。
- 専門性を追求した教育活動を充実させ、商業と工業の連携による、科目の相互選択制など学科横断的な教育活動を実践します。
- 次世代のスペシャリストとして必要な実践力を育成するため、基礎的な学力、技術・技能の定着を図るとともに、実社会に対応できる検定及び資格の取得を推進します。

アドミッション・ポリシー

～本校では次のような生徒を求めています～

- 本校の教育活動の特色や教育目標を理解し、商業や工業の専門学科に興味・関心を持ち、入学後の具体的な目標を持った生徒。
- 自ら考え、表現し、行動することに意欲的で自らの希望する進路実現に向けて努力できる生徒。
- 将来のビジョンを持ち、夢の実現に向け課題を克服し、何事にも挑戦し続けていける生徒。

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○専門性を追求した教育活動を充実させる。 ○商業と工業の連携による特色ある教育活動を実践する。 ○学力及び技術技能の基礎力を確実に定着させる。 ○学習指導方法の改善を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣の確立を図る。 ○主体性・協働性を育み自立した人間の育成を図る。 ○社会人基礎力と豊かな人間性を育む。 ○教育相談体制の充実を図る。 ○学校行事や特別活動及び部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実際の・体験的学習の機会拡大と充実を図る。 ○一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるとともに、自己の個性を理解し、主体的に自己の進路を選択する能力や態度を育てる。 ○進路指導體制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会制度を活用した、地域との協働を図る。 ○広報活動を充実させ情報の発信を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクール・ポリシーに則った学校経営の推進を追求する。 ○安全安心な学習環境を維持構築する。 ○教育公務員としての規範意識を醸成するとともに、風通しの良い職場環境を構築する。 ○働き方改革の視点に立ち長時間労働の解消に取り組む。
主な方策	<ul style="list-style-type: none"> ○スタディサプリの到達度テストを利用し、学習意欲の向上と中学校までの基礎学力の底上げを図る。 ○「主体的・対話的で深い学び」を推進するためにICT機器を活用した授業改善や、次世代のプロフェッショナル育成に必要な環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会、保護者及び各種機関と連携した指導を行い、主体性・協働性の涵養につなげる。 ○生徒情報の共有を徹底するとともに、SC、SSWや外部機関等と連携し、ケース会議等の教育相談体制を整備して生徒への支援を充実させる。 ○入学当初の部活動紹介等の企画や部活動支援体制の整備等を行い、加入率の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップや「仕事のまなび場」へ参加し、実際の・体験的な学習をすることの意義等をしっかり生徒に伝える。 ○進路ガイダンスの内容を精査して、多くの進路情報を生徒に提供するとともに、外部講師を積極的に活用したキャリア教育を実践する。 ○複数チェック体制を厳守する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の学びに連携協定を活用するとともに、地域やOB、連携企業と協働する。 ○ホームページの更新をこまめに行うだけでなく、メールマガジンも配信するなど広報活動を充実させる。 ○近隣中学校の生徒及び保護者に加え、中学校教職員へのPR活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○両科の協働的な学習活動を通して、相互理解を深めるとともに、職業人の育成につなげる。 ○地域の協力も得ながら、生徒が安心して学校生活を送ることができるとともに、風通しの良い職場環境を構築する。 ○不祥事防止会議や研修会のみではなく、日頃から不祥事防止に向けた情報共有を行う。 ○Teamsの活用と見える化をさらにすすめ、会議時間の削減やペーパーレス化を目指すとともに、業務の効率化につなげる。

校訓・沿革・伝統

- 大正9年、安部幸兵衛氏の寄付金により神奈川県立商工実習学校が設立され、昭和23年、神奈川県立商工高等学校と改称し、昭和49年に、校舎が現住所へ移転された。
- 「自由啓蒙」「自覚自治」を校訓としており、総称として「名教自然」という言葉で現在に受け継がれている。

特色のある学校行事等

- 企業や大学と連携し、音響設備等の最新機器を利用した文化祭や体育祭を実施している。また、さまざまな商品を開発し最先端技術に触れることにより、専門的な知識・技術を養っている。